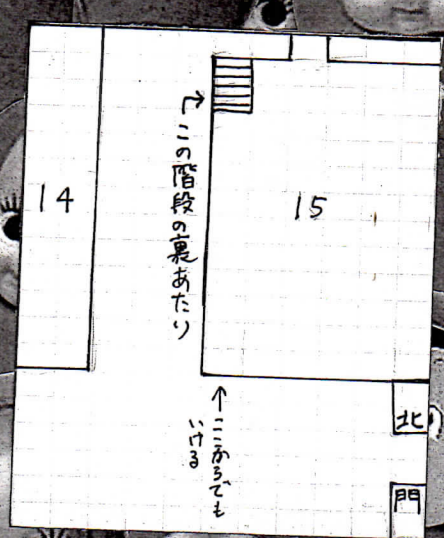
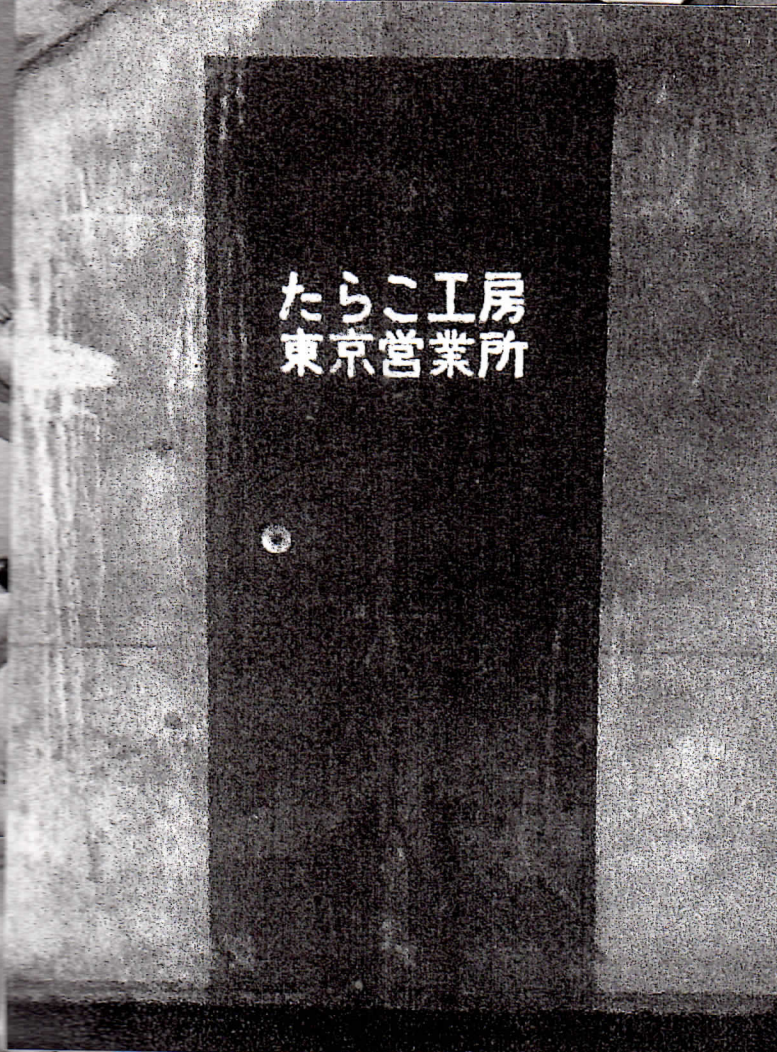


早稲田の怪異



普段は通る人間も滅多にいないような建て物の脇、薄暗い通路のどん詰まりに、それは人知れずある。

いったいこれは何なのか。

ドアのように見えるが、しかしそこに隙間はなく、蝶番も見当たらない。

ドアノブのようなものもあるが、回すことはおろか、掴むことすらままならない。

何より、そこに書かれた「たらこ工房 東京営業所」の文字。

たらこ工房とは何なのか。工房というからには、何かを作っているのか。他の地区にも営業所が存在するのか。

Google先生すら何も教えてはくれない。

大学当局は我々学生に何かを隠しているのか。この先には大学が密かに抱える大いなる闇が待っているのだろうか。手がかりは皆無、謎は深まるばかりだ。